加古川市立平岡東小学校　学校だより

East

【学校教育目標】

自ら学び共に伸びる子の育成

No.６　　2026年１０月１日

人は見た目じゃない

修学旅行出発の日の朝、６年担任の私は校長先生に注意されました。「シャツはズボンに入れなさい」。２０数年前の世の中では、シャツをインするのはダサいと思う若者と、ズボンから出してるのはだらしないと思う世代とで価値観が割れていました。今は１周回って、逆にインしたり後ろだけ出したりする着こなしもあるとかないとか。映画「バックトゥザフューチャー」では、近未来（と言っても 2015 年）はポケットの袋布を外に出すのが流行のファッションという設定でした。（話は違いますが、中国外務省の役員が日本の役員と話している時、両手をポケットに入れたままだったことが社会問題になったことがありました。その行為を失礼だと思う感覚も世代とともに変わっていくのでしょうか…）服の着方にもその時々の流行がありますが、人を不快にさせる見た目や態度は、いつの時代でも避けたいものです。

今月の７日（水）から６年生は京都・奈良に修学旅行に行きます。平岡東小代表として恥ずかしくない態度で羽目を外しすぎないよう、でも目一杯楽しんできて下さいね。奈良は今、「飛鳥・藤原の宮都」が世界遺産に登録されて、大変盛り上がっています。ところで、奈良県のマスコットキャラクター「せんとくん」をご存じでしょうか。当初は、2010 年に開催された平城遷都 1300 年記念事業の公式キャラクターとして誕生しましたが、図案が発表された時から様々な批判が寄せられました。「気持ち悪い、仏に鹿の角を生やすとは仏様を侮辱している」などなど。しかし、この騒動で知名度が高まったことで徐々に人気者になり、翌年には奈良県の公式観光マスコットに採用されます。同じようなことが大阪・関西万博でもありました。「気持ち悪い、怖い、選び直せ」などと当初は酷評されていた「ミャクミャク」でしたが、万博後の今も絶大な人気を誇っています。「人は見た目じゃない」と言いますが、「人の見た目じゃない」キャラクターも、初見の印象だけで判断しない方が良さそうです。少なくとも、その図案を考案した人や選定した人の人権を侵害するような誹謗中傷は、絶対にあってはなりません。

悲しいことに、ＳＮＳ上では様々な人権侵害が日々起こっています。今月 23 日（金）に本校において人権・同和教育協議会研修会として、情報モラル教室を行います。当日は授業参観もありますので、ぜひご来校いただき、一緒にデジタルマナーについて学びましょう。参観授業についても全ての学級で人権教育の学習を行います。それぞれの学年の発達段階に合わせた教材を使って、みんなで考え、話し合い、理解を深めていきたいと思います。帰宅後、家庭内でも授業の続きをしていただけますと幸いです。

東映太秦映画村が実施している、夜のみ１８才以上限定のイベントに、人権的な観点から批判があがっているそうです。その名も「拷問屋敷」です。江戸時代の取り調べや司法の闇の歴史を学ぶというコンセプトですが、拷問をコメディ風に体験することに「暴力を笑い事にしてはいけない」等の声も寄せられています。６年生も映画村に行きますが、時間的にも年齢的にもこのイベントは体験できません。ただし修学旅行中に羽目を外し過ぎていると、校長先生や担任の先生から説教部屋に呼ばれることがありますので、ご注意を!?



オシャレして ハロウィンの仮装に 間違われ…

（校長　河合　康一）